

有明高専だより

第73号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-1013

印刷：重富オフセット

第28回 入学式式辞

諸君入学おめでとう。
本日より諸君は有明工業高等専門学校の学生であります。高専は後期中等教育即ち高等学校の課程が含まれているにもかかわらず、初等中等教育局の管轄下にはなく、高等教育局すなわち大学と同じ部局の管轄下にあります。従って諸君の身分は生徒ではなく学生であります。高専の国からの予算は大学と同じ額の予算が配布され、名前は高専ですが実質は立派な大学であると云えます。先生がたの身分も教授、助教、講師、助手で、大学と同じであり、高等学校のような教諭の席はありません。したがって諸君は十五才で実質的な大学の学生になったと言えます。

それでは「学生としての心構えはどうすればよいのか？」について話しましょう。学生とは自ら学業を修める者であります。諸君は今まで中学校の先生、学習塾の先生がたの親切な与えられた指導を受けてきております。即ち受身の教育を受けてきた訳です。学生となった諸君は、これからは自分から積極的に計画を立て、先生がたからその人柄、知識を諸君の栄養として吸収してください。大いに頭を回転

させ、先生がたを困らせる質問を用意し、授業を楽しい物にしてください。技術者教育における高専の五年間一貫教育は日本独特の物で、この制度は世界的にも評価され、米



た本校では高専出身の教官が七名にもなっております。大学受験のための無駄がなく、個性が伸ばせる高専の教育の優れていることを示しております。また高専を卒業してさらに勉強したい人には、大学三年編入の制度があり、今年も十四名が大学に進学します。これらの卒業生を受け入れるために作られた技術科学大学が長岡、豊橋にあり、また大部分の国立大学も受け入れております。北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州の昔の帝国大学も受け入れております。これらの大学への編入は、普通の大学受験の道より遙かに容易で、高専卒業生の特権であります。おおいに挑戦して下さい。

このように諸君の将来は非常に明るいものです。しかしこの明るさは諸君の学生としての努力が前提であることを心に深くとどめて置いてください。今日より心身の鍛錬に励み、五年間の萩尾台の生活を生涯の良い思い出になるよう過ごして下さい。諸君の学生としての出発を祝して式辞といたします。

目次

- 1 第28回入学式式辞
- 2 第23回卒業証書授与式告辞
- 3 退官にあたって
- 4 新任紹介
- 5 図書館だより
- 6 新入生オリエンテーションを終えて
- 7 学生表彰について
- 8 ヨーロッパ留学の思い出
- 9 年間行事計画
- 10 教室通信
- 11 学祭だより
- 12 学生会だより
- 13 春季合宿報告
- 14 クラブ活動紹介
- 15 新入生歓迎遠足
- 16 春季球技大会
- 17 大牟田テニストーナメント
- 18 C級(単)優勝
- 19 高専体育大会日程
- 20 事務部からのお知らせ
- 21 公開講座授講生募集
- 22 5C学生老人ホームを清掃す
- 23 編集後記



有明工業高等専門学校長

竹村 哲男

平成二年四月十日

第二十二回卒業証書授与式告辞

本日ここに後援会長、同窓会長はじめ多くの御来賓、御家族の方々、教職員ならびに在校生代表の参列のもとに、本学第二十二回卒業証書授与式を行い、新しい技術の世界に羽ばたく卒業生百四十六名を産業界、官界及び大学に送ることにになりました。卒業生諸君おめでとう。御家族の皆様にも心から御喜び申し上げます。

諸君の五年間の萩尾台の生活のうち、世の中は技術、国際政治、地球問題等において急速に動いてきました。この動きは更に加速され、二十一世紀に活躍する諸君の社会は間違いなく、これらの問題が錯綜した先端技術社会になります。そこでは単一分野の技術ではなく、複合分野の技術がいよいよ重要になります。諸君の本校に於ける五年間の勉強は、一つの分野の既に知られている事柄の基礎と応用についての定食を食べたことであり、決してこの定食が将来の諸君の栄養として、充分なものではありません。実際技



諸君の五年間の萩尾台の生活のうち、世の中は技術、国際政治、地球問題等において急速に動いてきました。この動きは更に加速され、二十一世紀に活躍する諸君の社会は間違いなく、これらの問題が錯綜した先端技術社会になります。そこでは単一分野の技術ではなく、複合分野の技術がいよいよ重要になります。諸君の本校に於ける五年間の勉強は、一つの分野の既に知られている事柄の基礎と応用についての定食を食べたことであり、決してこの定食が将来の諸君の栄養として、充分なものではありません。実際技

術者の知識の半減期は今でも五年と云われております。二十一世紀には恐らく三年になることと思えます。はなはだ頼りない定食ではありますが、学校教育の目的は、このうまくない定食を消化したという自信を持たすことです。諸君は研究室に配属され、徹夜で卒業研究を仕上げたことと思えます。物事を完成したことの喜びと自信を持ったことに對して、卒業証書が与えられるわけですが、高専教育は完成教育であると言ふ人もありますが、完成教育などあるはずがありません。卒業式はこれから更に勉強をする

研究論文受賞

- 機械工学科 田口絃一 教授 助手 明石剛二
- ※受賞名 「工作機械技術振興賞」奨励賞
- ※論文名 深リブ仕上げ加工用のエンドミルの開発とその切削性能(工具形状の切りくず排出および切削力へ及ぼす影響)
- ※共著者 住吉幸二、西山貴之(以上有明高専)、仙波卓弥(福岡工大)
- 機械工学科 南 明宏 講師 ※受賞名 日本塑性加工学会論文賞
- ※論文名 温・熱間鍛造における型の熱的接触・冷却条件の評価法
- ※共著者 濟木弘行、御萩如英也(以上熊本大)

人事異動

- 以下平成二年三月十六日付
- ▲昇任 庶務課課長補佐 白倉英利
- 以下平成二年三月三十一日付
- ▼退職 ▲退職 助教授(一般科) 向井昭三 技官(教務係) 高細 探
- 以下平成二年四月一日付
- ▼採用 ▲教授(電子情報工学科) 瀬々浩俊 助教授() 中村俊三郎 講師() 堤 豊 講師(一般科) 村岡良紀

工場見学

- 4月26日 5A 大牟田文化会館
- 5月10日 11日 5M 新日本製鐵(株)八幡製鐵所 (株)安川電機製作所八幡工場
- 6月19日 5C 九州工業試験所
- 6月21日 4A プリダストンサイクル(株)旭工場
- 6月27日・28日 5E 三菱重工(株)長崎造船所
- 三菱電機(株)長崎製作所時津工場

助手(一般科)

- 井上仁志 藤野充幸
- 山下水郊 (九州大学医学部附属病院管理課より)

技官(教務係)

- 松本和秋 後藤貞夫
- 池田 茂 庶務課長補佐
- 松本和秋 庶務主任
- 宮川英明 庶務主任(出納係長)
- 中原正俊 庶務主任(総務主任)
- 永松謙二 庶務主任(用度主任)
- 小宮俊幸 右田信明

兼任関係

- 倉橋完充 倉橋完充
- 瀬戸 洋 瀬戸 洋
- 池田 茂 池田 茂
- 松本和秋 松本和秋
- 宮川英明 宮川英明
- 中原正俊 中原正俊
- 永松謙二 永松謙二
- 小宮俊幸 小宮俊幸
- 右田信明 右田信明

任命

- 建築学科主任 原田克身
- 電子計算機室長 山下 巖
- 図書館長 坂西文俊
- 総合実習センター主任 木佐木尚
- 三宅昭春

兼務

- 電気工学科兼務 中原正俊
- 電子情報工学科兼務 堀田孝之
- 会計課出納係兼務 中村雄一
- 電子情報工学科兼務 前川久美子
- 転入 ▲ 庶務課長 吉田忠孝
- (豊橋技術科学大学総務部会計課課長補佐より)
- 浦松洋行
- 出納係長 浦松洋行
- (九州大学経理部経理課第一契約掛第一契約主任より)

退官にあたって

「退職して二ヶ月」

向井 昭三

今ふりかえると、皆様にご挨拶した4月9日が、随分昔のような感じがします。「高専だより」に何か書けというので、辞めた者が今更何をいっても仕方がないと思います。近況報告みたいなものでその責めをふさぎたいと思います。

私は、満19才から今春満61才まで42年間教師をしてきました。その間、殆ど同じ内容の初等数学を教えて過ごしたわけですが、つい先達で5月4日に、私が最初に教えた生徒さん方の同窓会に招かれて、熊本県八代市に行ってきた。この前の事のように、記憶が甦り、それから既に42年間の月日が経って、了ったことが夢のような感じがした。大変に懐かしかったです。

自分自身については、大した進歩も変化も無いのですが、それでも、42年間教えることを通して考えた。あるいは、割りとは読書の読書を通して、識りまたは考えさせられたこともあり、若い時から心懸けてきた「安心立命」の境地にいくらかでも近づけたかなと少し大袈裟ですが、割りとは冷静な気持ちで考えているところです。まだまだこれから一層、自己の修養に励まなければならないと思えます。それには先づ、読書だけでなく、できるだけ外に出て、多くの人の交わりを大事にしたいかなければならないと考えているところです。

お別れのときに申しました歴史探訪も、大長編小説の「失われし時を求めて」も、まだとっかかりはいいませんが、これからぼつぼつ始めようかなと思っています。皆様も、それぞれに、さらに自己研鑽に努められるように、心からお願ひする次第です。(5月14

早くも5年間の高専勤務が終わりにきたといった感じで此の御挨拶を書いていきます。

長い会社勤めを終り、第2の人生の場として高専に勤め始めてから、本当にアツと言う間に過ぎた思いです。最初は畑違いの点もあり、かなり危なっかしいことばかりでしたが、回りの教職員の方々のお力添えで、大過無く勤務出来ました。この紙面を借りて、深く感謝し厚くお礼申しあげます。

私にとって、この5年間の学校生活はこれからの第3の人生への充電の、或いは今まで知らなかった人生の一面の勉強の期間であった様に思われます。

「現象の理を悟りて無我とに」との言葉があります。自然、社会、人間の織りなす全ての現象を支配する自然の法則に従い、一切の私心を離れて人々の幸福を祈り、思いやりの心つかいで一日一日を生きていくことが、正しい生き方であると説かれていたのです。私は学校生活の5年間を通して、思いやりと心使いの大切さを知りました。生涯学習としてこの勉強を続け、それを実践して、充実したシニア・ライフを送りたいものと思っています。

私は、二十八年間の会社生活に終止符を打ち、桜の花咲く本校に赴任してまいりました。人材のユ一ザ側から人材のメーカー側に変ったことになりました。ユ一ザでの経験・要求を生かした教育(研究)を行いたいと思っています。略歴を申し上げますと、昭和三十七年九州大学工学部通信工学科(現在の情報工学科の前身)を卒業し、(株)安川電機製作所に入社、以来大部分を埼玉県で過してまいりました。仕事は、コンピュータ及びその技術に応用した機器やシステムの(研究・開発・設計とその管理、別の見方では、自社技術開発、外国企業との技術提携(導入と提供)、外国企業との共同開発、国際・国内の工業標準化、に関するものでした。



電子情報工学科教授 瀬々 浩俊

今年秋から冬にかけて、神戸や東京で開かれる予定の同窓会に招かれましたので、是非出席するつもりでいます。

若く熱気の中で、その熱気に負けないように、フレキシブルな感覚で対応したいものと、私なりに努力したつもりですが、からまわりや、思い違い等もあって、勉強させて頂いた事の方が多いのではないかと思います。楽しい愉快な思い出が、きっとこれからの私の励みになるのではないかと考えます。私は今、「道徳科学」を勉強しています。その格言の中に、

井上仁志 藤野充幸
山下水郊 (九州大学医学部附属病院管理課より)
松本和秋 後藤貞夫
池田 茂 庶務課長補佐
松本和秋 庶務主任
宮川英明 庶務主任(出納係長)
中原正俊 庶務主任(総務主任)
永松謙二 庶務主任(用度主任)
小宮俊幸 右田信明

「現象の理を悟りて無我とに」との言葉があります。自然、社会、人間の織りなす全ての現象を支配する自然の法則に従い、一切の私心を離れて人々の幸福を祈り、思いやりの心つかいで一日一日を生きていくことが、正しい生き方であると説かれていたのです。私は学校生活の5年間を通して、思いやりと心使いの大切さを知りました。生涯学習としてこの勉強を続け、それを実践して、充実したシニア・ライフを送りたいものと思っています。



て仕事をする能力を含みます。三つには国際的能力即ち高い専門能力に加えて外国人と会話や議論を通じて、協調をとりながら仕事をこなす能力です。四つ目は学際的能力、即ち広い視野と境界領域にとらわれずに仕事をして行く能力が必要で、これ等は技術者共通に力があることですが研究者では独創力が全てであると考えます。さて、現在は工業化社会から情報化社会に進んでいます。物質とエネルギーと情報は自然を考えると三つの基本概念ですが、情報は一番選れて出て来た概念です。今後、その重要性が益々大きくなると共に、人間の知能のしくみの解明とその工学的実現には大きな可能性と夢があります。

電子情報工学科はこの情報分野を対象とした人材育成が目的であり、関係各位の御支援・御協力のもと、最大限の努力をしたいと思っております。



電子情報工学科助教 中村俊三郎

皆さん、こんにちは。このたび縁あって本校に参りました。入学式が終わって数日後、担任のクラスの子が学生が、「先生、

今、私の最大の関心事は、半導体のパリスティック電子デバイスの中でもなければ、TRON計画の進展状況でもない。ただ、私が担任の四十三名の学生たちのこと。彼らが「腕白でも、おてんばでもいい、逞しく育ってくれば」と願うばかりである。



電子情報工学科講師 堤 豊

この四月、コンピュータ会社の研究所から、母校である本校の電子情報工学科に講師として着任致しました。私が本校に在学していた頃は、まだ、第二体育館もなく、新一般棟もなかったもので、月日の流れを感じてしまいます。

情報工学の分野を考えてみて、情報化社会という言葉が盛んに使われ始めてから約十年になりました。情報工学という分野は、計算機そのものの開発という面（ハードウェア）と、計算機の利用技術（ソフトウェア）という2つの面を持っています。後者は情報工

学という分野を他の分野と大きく異ならせています。というのは、計算機を適用する分野の知識があれば役に立たないということ。電子情報工学科のキャリアムには、適用分野の講義はありませぬ。他の学科では、それぞれ機械、電気、化学、建築の仕事をする道具として計算機を使っていますが、電子情報工学科の学生は、ハードウェアの知識を修得することと共に、社会に出て実際に問題を与えられたときに解決する方法（問題解決能力）を、身に付けることが望まれています。

技術者の中でよく自分が使っているもの以上のものがあっても固執して使いたがらない人がいます。が、進んで新しいことをやってみる、それが、ソフトウェアの心髄です。

情報工学は、まだまだ発展途上の分野です。私も、先輩諸先生方にご指導、ご鞭撻をいただき研究を続けて行こうと思っております。

一般科講師

村岡 良紀



一九六二年大阪府吹田市（一九七〇年の万国博覧会の開催地）に

り、何処に住んでいても冬になるとスキーに行きたくなる体質で、来シーズンもなんとか暇をつくってスキーに行こうと考えています。球技大会等には得意・不得意に関係なく、どんどん参加するつもりでいますのでよろしく願います。

一般科助手

井上 仁志



皆さん、こんにちは。新任のあいさつと言うことですが、わたしの場合は、新任といつてもその前に非常勤講師で3年お世話になってましたので、学生ともだいたい顔見知りだし先生方のお顔も名前と一致する程なのですが何はともあれ自己紹介します。

大学在学中（日本体育大学）は、陸上競技部に籍を置き、十種競技に青春の日々を賭け日夜トレーニングに励みました。大学4年の冬、JRの車両のボスターで青年海外協力隊の存在を知り応募をする。

大学卒業後、青年海外協力隊に入隊し任国事情、語学訓練を経て翌年ネパール王国に派遣されました。ネパールではスポーツ評議会に所属し陸上競技コーチとしてネ

工業化学科技官

山下 水郊



四月から企業より工業化学科へ勤務しております。工場と異なった環境で早く馴れるように心掛けております。約二十年前になります。が企業より熊本大学工学部工業化学科へ派遣され二年生、三年生と共に二年間学びましたが、そこで学んで役に立った事は基本的に考え方だっただけです。教科書通りの事例はほとんど有りませんが自分で問題解決をしなければならぬからです。今学生さんが学ばれている事は大切な基礎であり社会に出てそれをいかに応用して行くかと思えます。私もその基礎学に御手伝い出来る様に努めたいと思っております。

学生課長

鹿島 秋夫



昨年八月に此処、萩尾の丘の本校へ赴任して参りまして、やがて一年が過ぎようとしております。



約半年間程度の経験ですが、

計事務の仕事は大学のそれと何ら違和感のないもので、安心をしております。会計課の仕事は、先生方が教育研究を遂行するために必要とする機械器具や教材の購入、建物等の増改築・修理修繕や皆さん方から納めていただく授業料等の徴収などをそれぞれ国の法規に則って行うことが主な業務です。私達会計課の職員は、先生方の教育研究活動や皆さん方の学校や寮における生活が円滑にできるよう学校施設を環境をよりよくすることが大切と考えて仕事にあたっております。

会計課長

小島 聡

昨年十二月に名古屋大学医学部附属病院から赴任してきました。大学では、事務局、研究所、病院を経験しましたが高専の事務は初

願っているところ。そしていまは女子学生が今後も増加してくると推測されるので、女子寮の新設等に向けて検討をしているところ。

いづれにしても、先生方や皆さん方と共に高専のよりよい環境整備の実現をめざして努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

庶務課長

吉田 忠孝



この四月愛知県の豊橋技術科学大学から赴任してまいりました。豊橋から東海道・山陽新幹線を利用して、博多で鹿児島本線に乗り継ぎ大牟田まで六時間、距離にして約九六〇キロメートルの道程でしたが、途中の様相が移り変わります度に遠くへ来たなあという感じが次第に強くなり、一抹の淋しさと不安を覚えたものです。

私にとって高等専門学校は初めての職場であり、校庭ですれ違った学生服の学生さんから「コンチワ」と大きな声で挨拶され、ジーパン、サンダル履きの工学部の学生と随分違う雰囲気を感じ身の引き締まる思いでした。また、本学では、電子情報工学科棟の建設・学



会計課出納係長

浦松 洋行

私は、昭和23年に福岡市に生まれ、中学3年の時に福岡市へ、そして結婚後3年過ぎから糸島郡で暮らしをしてきました。家族は、私を含め4人です。長女(高2)、長男(中2)を養っています。趣味は、硬式テニスと釣りにです。職歴については、昭和41年に

九州大学医学部附属病院に採用されてから学部を13年間本部を11年間と24年間会計事務の仕事に専念してまいりました。経験年数だけで見ると超ベテランのように見られがちですが中身は、医療事務、経理、用度、管財、共済、契約等多種多様の事務でした。このように浅く広く経験したことは、私にとって今後の大きな財産になると思う。

この度、4月1日付けで有明高専の会計課出納係長を命ぜられました。九州大学在職中は、上司に掛長がいたので判らない点があればいつでも尋ねることができたが今度は立場が違うので責任の重さを痛感しています。出納の業務は、私にとって今まで経験のない分野です。勉強しながら毎日責任と自身を持って務めたいと思っています。

事務電算化については、他の大学に比べると少し遅れを取っていると思われ、事務簡素化のためにも早期実現を望む。

私生活では、単身赴任のため、留守がちなで周囲の方にご迷惑をかけるかと思っておりますがよろしくお願ひします。

最後に、小生まだまだ未熟者ですので御指導、御鞭撻の程、お願ひ申し上げます。

会計課用度係主任

藤野 充幸



この4月に有明高専に赴任してから早くも二ヶ月が過ぎました。九州大学在職中は、計算機業務と用度事務を行って来ましたが、こちらでの仕事も用度事務なので九州大学の頃の知識が少しも役立てば幸いと思っています。

ところで用度の仕事のひとつには、物品を購入することがありますが、これは予め決められた予算の範囲内で行なわなければならないという制約があります。

このとき、購入しようとする物品の中には、今までの経験や知識の範囲に無いものもありますから、これらの物品の適正な価格を把握することは、なかなか難しいこととも言えます。

中には、技術の進歩によって、物の価格が極端に変化することもあります。

例えば、計算機を例にとれば、私が最初に使ったものは、北九州高専に在学中の頃でしたが、紙テープリーダーを使用していました。これが、紙カードに代ったときには、画期的なものだと思つたものです。

現在、端末から入力すれば済み、この紙カードも利用されることはありません。又、私が仕事を始めた当時は、中型計算機でしたが、五二二KBバイトの容量しかなく苦労したものです。

パソコン(当時はこの言葉もありませんでした)は、四KBバイトしかありませんでしたので、メモリーを分割して使用する等方法を駆使しなければならず、プログラム作成には苦労したものです。

現在では、教育用のパソコンでも二Mバイトの容量を持ち、簡易言語ないしはベสิก等の言語が使用出来ます。

私が計算機の仕事始めた頃の二Mバイトの計算機の価格は、一億円以上でした。

それが現在では百万円以下で購入出来る訳です。

このため、物品の購入にあたっては、過去の実績だけではなく、現時点での価値及び価格が問われることとなります。

このため、多くの資料を集めたり、物に対する知識を蓄えなければなりません。

従って、皆さんにも色々質問し、迷惑をかけることも多々あると思いますが、私なりに努力して仕事に取り組みつもりでございますので、今後ともよろしくお願ひします。

有明高専 図書館だより 59

「図書館」なごり

木佐木 尚

高専図書館の役割りは、本を読んでもらうことである。これに違はないが、読みたくない学生にまで、猫撫で声を出す必要があるのか? と、新任館長はや、荒っぽい。

一般社会ならば、収入が増えないだけで、どっちにするか、自分で選べ、とつき放せしようが、授業料を受取っている手前、そうはゆかない。でなければ詐欺になる。そこで、学生諸君には、「読め、読め、手当たり次第読め、(見ろ)」「と言うことになる。活字であれ、映像、音声、そんなことはどうでもよい。己れの身について、突嗟の時にひらめくもの、だけが役に立つ、と申し上げておく。

学生諸君は忙しいのだ。いい本、役に立つものだけが欲しいだろうが、それは難かしい。推薦したいものは、沢山あるが、御本人が欲しいのか否か、他人には解りはしない。よって小生は、手当たり次第でいいと申し上げる。身につかないものは、クダランと割り切っているのではないか。それは断言できない面もあるが、それは自分の

力備との相談である。とにかく、図書館にいらつしやい。見るだけでもいい、読みたければ借りて下さい。美人のお姉さんが貸してくれます。(以上)

「図書館」に新風を

新任館長に期待する

図書館も、この四月から木佐木先生を新館長にお迎えし、また、各科から選出の図書館運営委員の顔ぶれも一新されスタートすることになった。

そこで、本校図書館の現状を報告し、先生方には今後一年間の図書館運営についてご協力と助言をよろしくお願ひしたい。

さて、本校の図書館の現状は年間の利用状況、貸出冊数を見て、まさに危機的状況にあると云える。開校以来二十七年が経過し、図書館をとりまく環境も益々多様化の傾向にあり急激に変化しつつあるが、開校当初、学生数、蔵書数千冊をはるかに超える利用があったことを思えば、現今の貸出冊数四、〇〇〇冊にも満たない利用では、我々図書館を担当する者として、まさに館員としての非力さを露呈したものと責任を痛感するものである。

図書館利用の減少傾向(激減というべきか?)については様々な要因が考えられるが、情報メディアの多様化、つまり映像、音声、視覚メディアの急速な普及にその主要因がある。

しかし、我々図書館員として理由はともあれ、この現象を手をこまねいて見ていることは許されな。その意味からも図書館員として、学生に一冊でも多く、一度でも多く図書館へ足を運ばせる努力を怠ってはならないであろう。

時代の流れにともない、従来の図書館は学生に本の貸出しだけをしておればよかつたものが、当今時代の潮流として、本を読ませることは勿論のこと、映像による本を「見る」、音声による本を「聴く」など、これまでの活字情報から視覚、聴覚による情報メディアへの対応が、これからのニューメディア時代を先取りする意味からも、視聴覚主任等の設置が強く望まれるところであり、また我々館員の意識の変革とそれぞれの創意工夫がその成否を大きく左右するであろう。

さらには、本校図書館を活力あるものにするためには、図書館長以下、教官、職員一体となりその目的に向かって努力することは言葉を待たないであろう。

かかる意味から、新委員の方々(図書館運営委員)のご協力を期待するとともに、本校の図書館活

平成元年度学科別貸出図書冊数調 (延入館者数 16,252人 開館日数 287日)

学科	学年	利用人員	貸出冊数	内訳									
				000	100	200	300	400	500	600	700	800	900
				総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	言語	文学
機械工学科	1	91	129	10	9	0	4	8	3	2	21	0	68
	2	18	29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	3	171	259	6	6	3	5	41	72	0	1	0	129
	4	43	67	6	6	0	1	5	36	0	0	0	17
	5	40	61	0	0	0	0	7	49	0	2	0	2
計		363	545	14	18	12	10	61	162	4	24	0	240
電気工学科	1	22	29	0	0	1	0	1	0	0	1	0	19
	2	35	43	7	13	1	0	19	0	0	0	4	8
	3	332	507	12	6	30	20	53	262	0	14	4	108
	4	312	478	16	4	4	4	38	347	0	32	2	34
	5	88	135	26	12	2	6	2	58	0	2	9	26
計		789	1,192	64	20	37	31	95	686	0	49	15	195
電子情報工学科	1	47	77	23	0	9	2	3	16	0	1	3	20
工業化学科	1	135	153	5	21	2	3	8	4	0	29	3	81
	2	149	211	0	4	0	3	111	29	1	37	0	51
	3	245	392	4	2	0	3	296	30	1	13	3	41
	4	159	247	25	1	10	6	74	10	1	0	0	85
	5	117	197	1	7	6	7	78	27	0	10	0	67
計		805	1,200	35	35	20	21	567	91	2	98	6	325
建築学科	1	80	110	6	7	2	3	8	7	0	1	0	71
	2	49	66	0	2	1	5	1	6	0	3	0	44
	3	82	121	0	1	0	2	61	87	0	4	3	33
	4	107	167	6	4	6	3	87	104	0	1	0	51
	5	103	174	1	4	6	6	7	104	0	1	0	34
計		421	638	13	23	30	19	37	265	0	15	3	233
合 計		2,425	3,652	149	96	108	83	763	1,220	6	187	27	1,013

- 平成二年度 図書館スタッフ紹介**
- 図書館長 木佐木 尚
- 庶務課長 吉田 忠孝
- 庶務係長 宮川 喜己
- 図書係長 宮本美沙子
- 司書 戸上 清子
- 工業化学科 辻 直孝
- 建築学科 玉野 實
- 一般科(文) 徳田 仁
- 一般科(理) 成富 孝
- 電子情報工学科 藤田登世子
- 電気工学科 倉橋 完充
- 機械工学科 猿渡 真一
- 電気工学科 小沢 賢治

新入生オリエンテーションを終えて

機械工学科 辻 武尚



私は、この阿蘇研修で多くの友とめぐり合う事ができました。その理由として、まず自分が左足をけがしていたことにあると思います。食事のときはいつも手助けしてくれたり、体育館等に来る時も、いつもつきそって来て、本当にもう言葉なんかでは表しきれないくらい感謝しています。研修に行く前日なんかはもう不安でたまりませんでした。食事の時はどうしようとか、風呂の時はどうしようとか、もう考えていると頭がどうにかなりそうな位でした。でも、いざ研修に出てみると、その不安も悩みも一度に消え去りました。みんながみんな暖かい手で迎えてくれました。荷物を持ってくれたり食事やお風呂に付き添ってくれたり。僕は、この思いは絶対に忘れないと思います。研修が楽しかった、嬉しかったとかそんな事以外にも、みんながしてくれた親切をどんな事よりも忘れないでしょう。

話はかわって、少し研修の中身



電気工学科 大淵 正晃

阿蘇の雄大な草原と空をつらぬくような山々を見ながら僕は三日間、このすばらしい景色の環境の中にある阿蘇青年の家で研修をしました。

今思えば五十分の授業より短かったような三日間だったけど楽しい思い出がいっぱいできました。



電子情報工学科 鐘江たか子

二泊三日阿蘇の草原の中で過ごしてみても、一番印象に残ったのはオリエンテーションだ。今まで簡単なオリエンテーションはしたことなかったけど、ここまで本格的なのは初めてだった。優勝するぞとばかり出て出かけて、お弁当も食わずに帰ってきて感じたことはチームワークがよかったということだった。なるべく近い距離で行こうと思えば道ばかり通



工業化学科 吉田 智並

四月二十三日から二十五日までの阿蘇青年の家での新入生オリエンテーションが終わりつつあります。



建築学科 山下 陽子

最初に、阿蘇研修のしおりをもらい、予定表を見たら、大きな行

僕は生活委員という大変な仕事をしなければならなかった。初めての僕にできるだろうかという不安をいただきました。しかし、クラスのみならず他の委員の人や先生方に助けられ、また迷惑をかけたとしてもいながらも立派に任務を果たしたときの感動はしばらくは忘れられないと思います。いちばんきつかったことはオリエンテーションでまわって谷一つ越えてまたもどつたときのクラスは男ばかりで、うちのクラスは男ばかりで、どとでもにぎやかで明るくすばらしいクラスだと思っています。

研修はきつかったけど、班のあの人がおもしろかったので楽しい三日間が送れたと思います。

電子情報工学科 鐘江たか子

二泊三日の集団生活でたくさん学ばせていただきました。まず、ここに来て私が思ったことは、自然を大切にしているということ。ついでに広場などもとてもきれいだと思います。そこで私は考えました。いつでも、どこでもきれいにしているならば、人はみんな、ゴミや空カンなど平気で捨てられないのでは無いだろうか。自然が美しければ、普通の人はそのきれいに感動し、汚してはいけないという気持ちが出てくるから。私達も早く、汚い所をきれいにしようという立場になればいいと思います。

学生表彰について

成績優秀賞

機械工学科 倉本 浩司

電気工学科 谷崎 文子

工業化学科 原 淳二

建築学科 林光院 武一郎

〇年間皆勤賞

誠・奥村貴之・中島康宏・前嶋信樹・味崎啓一・森山直彦

1 A 嶋津裕子・野崎達志・龍美妃

2 M 品川 崇・進藤俊喜・徳永直・中村敏孝・長沼公紀・松本康男・宮原正剛・永淵昌彦

2 E 浦中徹也・川口弘樹・上瀧裕司・猿渡和陸・瀬口 正・芦川裕二・田上立也・塚本正彦・徳山純一・古庄広治・前川雄一・渡辺和彦・渡邊知央

2 C 上藤史子・古賀敏宏・平木由紀夫・西村慶一

2 A 江口裕章・田栗靖子・廣井武志・矢滝 攝

3 M 阿部満朗・丸岡九善和・猿渡研一・高田賢児・松岡博典・宮川岳志・森 知章・和田善朗

3 E 諫山正剛・岡村尚幸・岡山昌雄・河野将樹・河野光貴・古賀雅治・後藤誠也・猿渡 裕・寺本和生・長岡信行・西村勝久・弘島晃・前川圭祐・吉村 隆

3 C 伊藤正徳・古財台維・新村幸凡・西島良介・堀口晋市・松下信幸

3 A 佐藤裕次郎・塩田和晃・高木香

4 M 柿塚真実・福田輝孝

4 E 古賀智之・猿渡哲也・田上泰明・花田憲児・本田博敬・宮崎崎通・宮田健多

4 C 岩川智弘・木下宏章・小島博二・竹島幸一・内藤英寿・松野誠志

2 C 秋山武彦・石橋卓也・内田勝

2 E 稲富謙一・片山 昇・志垣大輔・寺原佳世・平野芳和・堀田貴之・牧嶋隆光・松井 毅

1 I 石口裕子・上村宗正・古賀久美・坂田健一・竹下幸余・中嶋政彦・山本博之

1 C 荒木忠志・今古賀直之・内村哲幸・大津和美・川口周作・川原英樹・古賀康泰・小寺郁子・澤野浩二・竹内 剛・田中あずさ・永松祐二・原田義広・藤本一志・村田 淳・森 直香

1 A 大田真紀子・河野裕美・小林洋・酒井琴美・武田真樹・田村貴雄・堤 隆・山下力太

2 M 富重将司・中島 隆・山口剛

2 E 井上大志・浦江昌志・緒方彰・清田賢司・小嶺圭市・近藤鐘城・鶴林孝文・徳永宗治・丸山圭二

2 C 秋山武彦・石橋卓也・内田勝

2 E 石野伸一・井上皇紀・大崎信幸・嶋村政浩・高水一誠・原賢健一・東 英雄・米田聖一

5 C 青木慎一・松本茂二

5 A 桑野涼子・竹下慎二

1 E 今村圭佐・植松 繁・岡本岳志・梶原 淳・杉野重人・田中智己・境 政行・中内晃弘・原田成作・樋口拓也・松村和宏・森山崇元・山内司信

1 I 古賀修二・瀧崎隆司・尋木信一・田中良幸・長 昌幸・西村昌

1 C 秋山伸一・井浦貴史・江藤

1 E 石野伸一・井上皇紀・大崎信幸・嶋村政浩・高水一誠・原賢健一・東 英雄・米田聖一

5 C 青木慎一・松本茂二

5 A 桑野涼子・竹下慎二

1 E 石野伸一・井上皇紀・大崎信幸・嶋村政浩・高水一誠・原賢健一・東 英雄・米田聖一

5 C 青木慎一・松本茂二

5 A 桑野涼子・竹下慎二

1 E 石野伸一・井上皇紀・大崎信幸・嶋村政浩・高水一誠・原賢健一・東 英雄・米田聖一

5 C 青木慎一・松本茂二

5 A 桑野涼子・竹下慎二

1 E 石野伸一・井上皇紀・大崎信幸・嶋村政浩・高水一誠・原賢健一・東 英雄・米田聖一

5 C 青木慎一・松本茂二

ヨーロッパ留学の思い出

建築学科教授 新谷 肇

昨年の八月二十五日から十一月三十日まで、約三か月余り、文部省の在外研究(短期留学)で、ヨーロッパ諸国の医療施設について研究する機会に恵まれた。我が国と欧米諸国の病院建築を比べると診療施設や外来部門の設備は我が国が大きくリードしている半面、患者を看護する病棟部門やそれを支えるサービス部門・スタッフのための空間・外来部門の患者の待ち合わせ空間等では大きく立ち遅れていると言われている。今回の調査研究の主要な目的は、イギリスの北ロンドン工科大学の医療施設研究部門の大学院コース(諸外国の留学生を対象)に籍を置いて英国の病院建築計画(特に病棟計画)の発展について研究するとともに、ヨーロッパ諸国の病院の病棟部門の平面構成・看護単位・面積水準・病室まわりの設備・看護方式・患者サービス等についてその実情を明らかにすることであった。訪問国はフィンランド・スウェーデン・デンマーク・フランス・イギリス・西ドイツ・オランダの七か国であった。この間に見学・調査した病院は大学病院・自治体病院・私立病院にわたり、その数は四十を越えた。病院以外にも若下のヘルスセンター・ナーシングホーム・デイケアセンター等を訪ねることができた。調査の報告は本校紀要で行う予定であるので、ここでは滞欧の思い出について述べてみたい。

帰国して既に半年になろうとしているが、未だに滞欧時の一日一日が懐かしく思い出される。それぞれの医療機関で親切にお世話下

さった沢山の人の顔が浮んでくる。今回は三度目の滞欧であったが、独力で三か月間のかかりびつり組まれたスケジュールをこなすことは相当ハードであった。留学が正式に決って出発までの半年間に、各国の受け入れ機関との手紙のやりとりで、それなりの準備もしてきたが、訪問地が多いため、詳細なスケジュールは現地に着いてから決まることが多く、ホテルの予約、鉄道の時刻調べ、寝台券の予約、フライトの再確認、訪問施設の下見等々でかなり神経を使った。しかし各拠点方式でなくラウンダ型の行程であったので、40kmを越えるトラック、手荷物をかかえての国間の移動が大変であった。また、各医療機関、大学、図書館、書店で集めた資料はともにも持ち運べないので、その都度、船便あるいは航空便で日本に送らねばならなかった。

一方、非常に助かった点は、ヨーロッパは鉄道・地下鉄・バス等の交通機関がよく整っており、しかも旅行者が利用し易いように案内やツーリストカード(一日券・三日券・一週間券等)が用意されていることである。鉄道については大陸用のユーレイルパスとイギリス用のブリットレイルパスを使用期間に合わせて日本で準備しておけば、切符を買うことなくすべての列車に乗り込めるのが良い。ツーリストカードは、地下鉄・市内バスが乗り放題であり、北欧ではそのバスで美術館・博物館の入場も無料であった。しかも、駅や町の中心におかれたツーリストインフォメーションセンターでは



(図1) コイブラ氏のアトリエ
左から ラトー氏、コイブラ氏、ルシラ女史、コイブラ氏の友人

やかで、余裕と落ちつきが感じられ、いらいらやきやきすした雰気がなく、その上、大変親切であった。いわゆる俗悪な文化とは無縁な国に来たような不思議な気分であった。ヘルシンキで二日間、私の案内で建築家として下った文部省の建築家であるルシラ女史、エンジニアのラトー氏や自身が設計した病院を説明してくるフィンランドで著名な病院建築の専門家である建築家のコイブラ氏(図1)、パーセラ氏らの親切さに驚きと深い感謝の念を抱くとともに見習わねばならないと感じた。ヘルシンキ最後の晩に、ルシラ女史の招待で、フィンランドが生んだ世界的な建築家のアルド・アルトが設計したフィンランドイデアホールで開催されたフィンランドラジョシオン・フォーラム・ナイトの迫力のある素晴らしい演奏に深く感動したことは忘れ得ない思い出である。八月末のヘルシンキは涼しく、白夜の季節は過ぎていくが、夜の九時頃までまだ



(図2) SPR1の本館建物のアトリウム

明さが残っていた。スウェーデンもまた国土の半分が森林で、沢山の湖が点在し、長い海岸線をもつ自然環境豊かな国である。メラレン湖とバルト海に挟まれた美しい水の都ストックホルムに、スウェーデンの保健、医療のシンクタンクであるSPR1の本館がある。昨年新築されたばかりの内部に巨大なアトリウムを有する魅力的な建物である。(図2)この研究機関で仕事をしている建築家のオゴルマン氏の世話で、ストックホルム、エスキルシュナ、ノルシェピング、ハムスタッドの各都市の医療施設を訪ねることができた。また、このSPR1の図書館には、この国の保健、医療に関する資料がほとんど集められ、SPR1レポートには、定期的に病院建築の特集も組まれており、貴重な資料を沢山いただくことができた。ストックホルムから鉄道で二時間程のノルシェピング病院へは、オゴルマン氏自身が案内して下さり、朝から夕方まで行動を共にしていただいた。夜行寝台を利用して訪ねたハムスタッドでは、朝の七時半にエンジニアのサムソン氏と元看護婦

で現在、技術部に働くスカラレ女史がわざわざ駅まで迎えに来て下さり、病院の執務室で朝食をよばれた。昼食時は病院長のニルソン氏も加わり、熱心な日本の病院のことを尋ねられた。午後にはリハビリ病棟、精神病棟をそれぞれ

年間行事計画

4・7・8	寮生指導者研修	11・2	入試説明会
9	始業式	7	小文化祭
10	入学式・入寮式	10	学生会選挙投票
11	新入生校内オリエンテーション	17	九州地区高専体育大会(ラグビー、北九州)
19	新入生歓迎遠足	29	冬季球技大会
20	開校記念日・寮生球技大会	12	1研修
23	新入生オリエンテーション(阿蘇)	12	学生会指導者研修
5・9	研修旅行(4年)	18	後期中間試験
6	春季球技大会	25	冬季休業
11	前期中間試験	25	寮生成人祝賀会・夕食会
16	寮生漫步	22	吹奏楽部定期演奏会
7	九州地区高専ハンドボール大会(都城)	26	寮生送別行事
16	保護者懇談会	2	2
20	九州地区高専体育大会(北九州・久留米・佐世保)	2	2
16	20	2	2
17	22	12	8
22	17	9	8
21	24	9	8
24	26	9	8
26	11	11	11
8	11	11	11
8	11	11	11
9	20	11	11
9	20	11	11
10	23	12	12
10	23	12	12
16	12	12	12



教室通信

機械工学科

※原楨真也先生が5月より10ヶ月間の予定で内地留学されています。
留学先：九州工業大学情報工学部機械システム工学科 精密システム大講座 鈴木教官室
住所：飯塚市大字川津680の4
TEL：0948-29-7776
研究テーマ：“トランスペルータを用いたロボットの高機能制御”

※教室だより
新年度がスタートして早二ヶ月が経過し、新学年に進級した機械工学科の学生諸君も新しい教室に慣れた頃だと思えます。本来ならばこの欄で同窓生諸氏の動向をお知らせするところですが、本年から同窓会会報が発行されることになり、同窓会関係の記事はそちらに掲載されますので、ここでは最近の機械工学科の様子を少々お伝えしましょう。現在教官は主任の庵原先生以下10名(原楨先生を含む)で、学生諸君の教育および研究活動に頑張っています。5年生はすでに卒業研究を開始しており、授業時間外の研究活動も積極的にやっています。また卒業後の進路もそろそろ自己決定する時期でもあり、緊張した面持ちで担任、主任との面接に臨む姿が見かけられます。4年生は関西方面への3泊4日にわたる研修旅行を無事終え、急に増えた専門科目に圧倒されないようにこれから本格的に取り組ん

でいこうとしています。機械工学科では学生諸君の学力増強の為に科内実力テストを実施しており、今年度もすでに4年生は1回、5年生は2回終了したところですが、また最近のいわゆるメカトロ化にも迅速に対応し、メカトロに関する授業を増やしたり、溶接ロボットを導入して今年度から工学実験の項目に加えたり、さらに製図教育においてもCADシステムを導入して今年度から実習授業を行うことになっています。

最後になりましたが、今年度も例のNHKの「アイデア対決」に機械工学科は積極的に参加することになり、現在、学科の英知を集めてアイデアを考えているところです。今年も、昨年の栄光に負けないようなアトラクティブなマシンが出来、その勇姿が全国に放映されることを祈っています。

電気工学科

◆永守知見先生がH2.5.1からH3.2.28まで内地留学されています。研究室◎〒812 福岡市東区箱崎6丁目10番1号九州大学工学部応用理学教室 TEL092-641-1101 下宿先◎〒812 福岡市東区宮松4丁目14-4 アミューズメント月見301号 TEL092-623-4770

工業化学科

◆正留隆先生は平成2年5月1日より3年2月28日まで九州大学工学部応用化学教室石橋信彦研究室へ「界面活性剤及び高分子電解質の分析化学的、溶液化学的研究」に関する研究のため国内留学されています。

紅杏棟 青葉棟 学寮だより

はじめに

寮務主事 池田 茂

寮明寮では3月に21名の卒業生を送り、この4月には新入寮生に一年は69名、四年(編入)に4名を迎えました。ウグイスとコジュケイの鳴き声の絶えない萩尾古墳の森の南、222名の学生の棟は新たな活気に満ちています。

寮は団体生活の場であるので一人一人が自律的に規律ある行動を取ること、上級生同級生下級生の集団であるので、お互いが友愛と協調の気持ちで接すること、生活の場であるので楽しさがあること、学寮であるので学習環境を整えること、これらを心がけ、皆でいい寮を目指し力をあわせてゆきましよう。

では、ここに、4月の行事二件と、新入寮生のこの一ヶ月の様子をお伝えしましょう。

寮生指導者研修会で学んだこと

寮長 皇添修行

現在の寮の素顔は、本当に寮生が望む寮の素顔であろうか。この問題は寮が寮長になってから、いや、この寮明寮に入寮して以来もち続けている問題の一つである。今回の研修会では、このことをメインとして話し合いを進めることとした。その第一段階として、アンケート方式による寮に対する意識調査を行なった。しかしその時期は、ちょうど期末試験の追い込みの時期でもあった。真剣に答えてくれるだろうか、我々は、少し不安であったが、寮生は「寮生活の向上」という目的のために真剣に答えを出してくれた。我々自治会も、その熱意に答えるために、集計を急ぎ、さまざまな問題の中から、議題をしぼり、話し合いに備えた。この時点で寮生と寮生自治会の結束は強く固まり、「寮をより良きものに変える」という決意につながった。

そして4月7日研修日、生憎の雨であったが、バレーボールで軽く汗を流した後、大牟田ハイツへと向かった。そして自治会役員と寮の関係の先生方総勢三十名による話し合いが夜遅くまで続いた。結果的に、持ち帰って話し合う分が多かったが、研修会出席者全員、これからは、寮生と寮生自治会の結束と熱意と努力によって寮を変えていけると感じたはずである。しかし、寮を改善するためには条件が一つだけあります。それは寮生一人一人の自覚です。これから寮生活で皆がそのことに気づくならば、すくなくとも今よりもずいぶんすまい寮生活が送れるはずだ。役員も、これまで以上に頑張りますので、寮生の皆さんも早く自覚を持ち、自分達の寮に変えて下さい。



寮生球技大会報告

体育局長 高田寛児

平成二年度寮生出身地別球技大会が、去る4月20日におこなわれました。

当日は澄み切った空の下で、ほとぼるの闘志がぶつかりあう予定でした。しかし、朝起きてカーテンを開けたら、無情にも土砂降りの雨でした。

ソフトボールは中止となり、バレーボールAとB、卓球という種目で争われることになりました。

雨が降っているとはいえ寮生の賞品いや出身地の名譽のための熱き思いに変わりはありません。

いつもの朝とは一味違ったラジオ体操と気合いの入った選手宣誓

寮での一日

一年 磯部仁志

「しのめはゆる……」。あつ寮歌が鳴った。急いで広場に集まらなければならぬ。寮での一日の始まりはこの寮歌である。そして点呼、ラジオ体操、朝食と続く。そして登校となる。学校へ着いて、勉強、部活が終わるとはくは部活の先輩たちの食事を用意しなければならぬ。ご飯を食べたら、部活のせんとく、それが終わったら今度はふろにはいる。九時に夜の点呼を受けて勉強帯となり、12時の消とで寮の一日が終わる。寮に来て時間の無駄なく使うようになり、ひまのない一日が続く。でもその方が自分にとっていいと思う。

新しい生活

一年 坂元大輔

目が覚めるとそこはいつも起きて一番に見る天井とちがっていた。何分間か空白の時間があつた。しばらくすると歌が流れはじめ、みんな外にでて点呼を受けた。そう、今、僕は有明高専寮明寮にいて、昨日、入学式を終えたばかりだった。全てのこと新鮮だった。今までやってなかった洗濯などもやった。そして生まれてはじめて自分だけで予習というとなんでもないことをしてしまつた。新しい友だちもできた。

入寮して

一年 道山久

寮に入る前、ぼくはとて寮生活のことが心配でたまらなかつた。中学の時の友だちはだれもいないし、4人部屋で自分だけ仲間はずれがなばって行きたい。

初めの一週間、とても長かつた。家に帰りたくてたまらなかつた。でも、今は前よりは帰りたと思わない。

まだ一ヶ月しかたつていないけど、がなばって行きたいと思う。

学生会だより

春季合宿報告

この春4月1日〜4月7日の7日間に渡って、一五〇名余の体育系クラブ員の参加のもと春期合宿が行なわれました。各部とも連日充実した練習ぶり、今年の高専体育大会等での活躍が期待されます。なお、参加したクラブは以下の通りです。

硬式野球部、軟式庭球部、卓球部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、剣道部、陸上競技部、水泳部、登山部(以上10クラブ)

クラブ活動紹介

硬式野球部

我々硬式野球部は、一年生を含めて部員35名、マネージャー5名総勢40名となりました。

三年生以下の高野連チームは、夏の県予選一回戦突破を目標に、又、四年生以上の高専チームは全国大会への切符を手に入れるべく頑張っています。

今年からは、コーチ兼監督に松原技官を迎え、主将山本を中心に毎日の厳しい練習に取り組んでいます。

軟式庭球部

私達軟式庭球部は男子22名女子8名の計30名、初心者的一年生を除けばそれぞれ違ったフォームとプレイスタイルをした個性派集団です。昨年は準優勝に終わりましたがそのレギュラーが今年もそのまま残っており、個人技、セットプレーにおいてさらに得点力を高め、十数年ぶりの全国大会に出場すべく日々猛練習を積んでいます。力の限り頑張りたいと思います。すので応援よろしくお願いします。

硬式庭球部

我々硬式庭球部は、一昨年優勝昨年準優勝と九州大会では常勝の部となりつつあります。今年も部員も30名を超え、より一層の飛躍をめざし、朝早くから夜遅くまで練習に汗を流しています。また、硬式庭球部主催の「ANCT杯」をはじめ、数多くのテニス大会に参加して試合経験も豊富にしておりますので、今年も九州大会では優勝できると思います。これから硬式庭球部をよろしく願います。

卓球部

新入部員6名を加えて一段と活気に満ちている卓球部です。現在我々は夏の高専大会に向けて練習に励んでいます。昨年はあまり良い成績ではなかつたのですが、今年も、全国大会が北海道というところもあって、全国大会出場を目標にがんばっています。卓球のメジャー化のさざしのある今、卓球がうまくなりたいつつ!!という方はぜひ我が部へ!!

ラグビー部

今年是一年生6名を加えて部員数25名となりよりいっそうがんばっています。

昨年の高専大会ではみんなのがんばりで九州大会三位という例年ない好成绩をおさめることができました。

バスケットボール部

我々バスケットボール部は、この数年の低迷をうちはらうため、

サッカー部

我々サッカー部は、44人の部員が一丸となって、毎日厳しい練習に耐え頑張っています。今年のサッカー部は、得点力の高いフォワードと粘り強いバックスを目標として、例年以上の試合数をこなして、それぞれ勝利をおさめてきました。我々は、昨年の高専大会での悔しさをバネにして、昨年以上のパワーを持つチームを作つて来ました。高専大会での我々の活躍を期待して下さい。

バレーボール部

我々バレー部は、九州高専大会優勝を目標に部員一丸となって練習に励んでいます。今年も有望な一年生を迎え部員も多くなりました。

今年から堤先生が顧問となり、塚本コーチ・堤先生のもと練習を行っていただきます。

昨年は九州大会で惜しくも予選落ちしました。今年は昨年の涙をバネに、ぜひ勝利を味わいたいと思います。

剣道部

我々剣道部は、塚本先生・堀田コーチの御指導のもと、今春6名の有望な新入部員を迎えて総勢24名で毎日厳しい練習に励んでいます。今年も、四年生中心のチームとなりませんが、有明の剣風である「攻撃」をモットーに大会まで気合を入れていきたいと思つています。そして我々の目標は九州大会に甘んじるのでなく、あくまでも全国大会優勝を目指してがんばりたいと思つています。

柔道部

我々柔道部の今年のメンバーは準優勝を果たした昨年のメンバーのインパクトはないものの、個性豊かな実力者が残っている。目標は当然優勝だ!!

佐世保での勝負を控え、役者は揃つた。我々は今、出陣の日を待っている。

乞う御期待!!

陸上競技部

夜のミーティング風景

陸上競技部

新人生加入によりさらにグレードアップした我々陸上部、今年も燃えています。第一顧問になられた井上先生をはじめ、全国大会出場経験者を軸とし、個人個人、「新たな飛躍」をなすために、日夜、厳しい練習に耐えています。

ハンドボール部

'90ハンドボール部は、これまでのハンドボール部とはちよつとちがいます。冬場にきたえた体力十筋力十チームワークどれをとっても充実した良いチームです。部員34人平均学年2・15という若くて活気のあるクラブです。今年も縦と横の攻撃に加えて空を利用して3次元ハンドボールで優勝をねらいます。

弓道部

我々弓道部は、8名の新入部員を迎え、総勢33名で高専大会優勝を目指し毎日「的」とにらめっこしています。

登山部

登山部は日常的な活動として、歩荷やランニング、サーキットトレーニング等の基礎体力作りと、天気図の描き方や地図の読み方など登山に必要な基礎知識を習得するための訓練を行っています。

水泳部

水泳部は今年1年生が8人、2年生が2人入りました。経験者が多く、良い記録を持っている人も数多くいるので、高専大会で十分に入賞を狙えると思います。さらに今年も顧問の新谷先生だけでなく、大牟田スイミングスクールの方にも指導していただき、密度の高い練習を目指しています。

バドミントン同好会

私たちバドミントン同好会は男子14名女子6名合計20名のクラブです。決して大きなクラブとは言えませんが活動は盛んで二カ月に

フォークソング同好会

フォークソング同好会は、昨年ほとんど活動らしい活動をしていませんでした。が、しかし、BUT、今年は心機一転して、活動にはげみたいと思う今日このごろです。今年も、知性・美・教養をかねそなえた、全校学生に愛されるクラブになるでしょう。半年後の我々の変化をたのしみにかけてください。それでは、ごきげんよう。

映画研究愛好会

活動場所は5A教室で、文化祭においてビデオの上映等を行っている。

DIY愛好会

我々DIY愛好会は、4M学生が中心の15人のクラブです。当会では今、ホバークラフトの製作、特に制御にとりこんでいます。ところで恒例となったロボットコンテストへも、クラブが中心となって、打倒久留米を目指して一丸と

R・P・G愛好会

RPG愛好会は今年で発足二年目となりました。

R・P・G愛好会

昨年のメンバーから三人が卒業

英語研究部

英語研究部は、今年3名の新一年生を迎え部員数5名となり、木曜日の放課後をメインの活動日とし、選択棟南側の部屋で会話やリスニングを中心に活動します。夏には、九州地区9高専の英語研究部の英語弁論・暗唱大会が今年も都城高専であります。出場参加も活動目標の一つです。

自動車工学研究部

授業が終わるとすぐに整備したバイクに飛び乗って街外れの……！
我々、自動車工学研究部では、車やバイクの分解、組立て等から、各部の構造等を学び、研究を行い、自分達でオリジナルの車を製作しています。今年も若い部員が増えたから、昨年、ジョーにくずされた三輪バギーを強化して、スーパースターバイクを作ります。

天文部

我々「夜の帝王」の天文部は、現在11人で活動しています。活動内容は、望遠鏡による天体観測や勉強会などをとります。天体観測は、月に一回、日が沈み月が昇るころ学校に来て、望遠鏡をのぞくといった具合です。

高周波研究部

私達高周波研究部は、ラジオを作ったり、アマチュア無線をした

漫画研究部

僕達漫画研究部は、全国高専大会に向け、人目を忍んで日夜、こそそと活動しております。今年も若干名の新入部員も加わり、新たな気持ちで、少なくとも三年以内で優勝の狙えるチームに仕上げたいつもりであります。

コンピュータ研究部

我々コンピュータ研究部ではついに部員数が30名を超え、ますます活気付いている今日このごろであります。

新入生歓迎遠足

去る4月19日に恒例の新入生歓迎遠足が行われた。

球技大会

平成二年度春季球技大会が五月二十五日(金)に行われました。当日は曇一つない素晴らしい天気のもと、学生、教職員共、いい汗をか



大牟田テニストーナメント

大牟田港緑地運動公園に今年五月一日オープンしたばかりのテニスコート(八面)で五月十二、十三日に大牟田テニストーナメントが行われた。硬式庭球部から十六名が参加し、C級シングルスで3A江口優勝、3C広田準優勝、同ダブルスで3C広田・福山ペア準優勝など部始まって以来の好成績をあげることができた。これも日頃の練習量と積み重ねた努力の賜ものだと思います。これを契機として高専大会をめざしてさらに精進したいと思



C級(単)優勝

- 球技大会結果報告
- ☆ソフトボール
 - 優勝 三年電気
 - 準優勝 五年建築
 - 個人賞 川口弘樹
- ☆バレーボール
 - 優勝 五年電気
 - 準優勝 四年電気
 - 個人賞 樺島和英
- ☆卓球
 - 優勝 二年電気
 - 準優勝 一年電気
 - 個人賞 安河内恒太
- ☆テニス
 - 優勝 五年電気
 - 準優勝 教職員チーム

生物研究同好会

現在、我が部は部員数8名で少人数ながらも日々活動しています。主な活動内容としては植物観察や採集、また化学実験なども行っています。今年も体育祭の年ですが、だからこそ今年は時間に追われずに自分の好きな研究が出来ます。そこでこれを読んでくれる方々、私達の部は毎週水曜日の昼休みに中庭にあるプレハブの部室に集まり会合を開いて居るので、生物部に興味のある方は是非入部して下さい。

もこの心です。あなたも弓道を通して心を磨いてみませんか。

一回の割合でいろいろな試合にも参加しています。

去年の高専大会ではおしくも二位で全国大会をのぞきました。でも今年も一年生も多く入り今後の活躍が期待できそうです。

今高専大会へ向けて毎日の練習に励んでいます。

写真部

吹奏楽部

吹奏楽部

第27回九州地区

高専体育大会日程

主管校 北九州高専
担当校 久留米高専、佐世保高専
平成2年7月20日～22日
11月17日～22日

北九州高専担当種目
○陸上競技 7月21日・22日
三萩野陸上競技場

○軟式庭球 7月21日・22日
北九州高専テニスコート、(雨天時、東陶機器体育館)

○剣道 7月21日
北九州高専第一体育館

○水泳 7月21日
岩ヶ鼻市民プール
11月17日～22日
本城陸上競技場

○ラグビー 7月21日
久留米高専担当種目
○硬式野球 7月21日・22日
久留米総合スポーツセンター市営球場、久留米大学御井学舎野球場

○バスケットボール 7月21日・22日
久留米総合スポーツセンター県立体育館

○卓球 7月21日・22日
久留米大学御井学舎体育館

○バドミントン 7月21日・22日
久留米高専第1、第2体育館

○バドミントン 7月21日・22日
久留米高専第1、第2体育館

佐世保高専担当種目

公開講座

完備した教育設備と教授陣容をひろく一般に開放し、地域社会との交流を深めるために始まった本校の「公開講座」も、その内容をますます充実しながら、本年度で9年目を迎えた。

平成2年度は、新たに一般成人向けの「パソコン技術研修講座」と中学生向けの「たのしい電子工作教室」の2講座を加え、従来からの中学生向けの「パソコン入門教室」「やさしい化学実験講座」とあわせて合計4講座、夏休みに入った7月下旬から8月にかけていっせいに開講する。各「公開講座」の概要は次のとおりである。

●「パソコン技術研修講座」
日時 7月28日、8月4日、8月11日、8月18日、8月25日のいずれも毎週土曜日 午後1時半～4時半
内容 パソコン取扱いの基礎と表計算ソフトを使った事例研究その活用技術の習得
対象 一般成人 30名
受講料 4,120円
場所 本校電子計算機演習室

●「やさしい化学実験講座」
日時 8月1日(火)～8月2日(水)
毎日午前9時～午後3時
内容 3～4人のグループに分れ、6つの実験課題についてたのしい化学実験を行う。
対象 中学生 20名
受講料 1,640円
●「たのしい電子工作教室」
日時 7月30日(月)～7月31日(火)
毎日午前9時～午後5時
内容 トランジスタ、ICなど電子部品のハンダ付やプリント基板の作製などを通じ電子工作のたのしさを体験する。
対象 中学生 20名
受講料 2,060円

操作、BASIC言語のプログラミング実習
対象 中学生 40名
受講料 1,640円
場所 本校電子計算機演習室
●「やさしい化学実験講座」
日時 8月1日(火)～8月2日(水)
毎日午前9時～午後3時
内容 3～4人のグループに分れ、6つの実験課題についてたのしい化学実験を行う。
対象 中学生 20名
受講料 1,640円
●「たのしい電子工作教室」
日時 7月30日(月)～7月31日(火)
毎日午前9時～午後5時
内容 トランジスタ、ICなど電子部品のハンダ付やプリント基板の作製などを通じ電子工作のたのしさを体験する。
対象 中学生 20名
受講料 2,060円

500学生老人ホームを清掃す！
去年12月9日、平成元年度5年C科の青木慎一君、上津原優君、桃島正美君、木下端夫君、山口昭次君がボランティアで、玉名市にある社会福祉法人浩風会の特別養護老人ホーム岱山苑を訪れ、お年寄りの方々の各部屋の清掃に励みました。
編集後記
○本号から編集責任者が代わりました。高専だよりの充実のために皆様方の御協力をお願いします。
○同窓会より、今年の四月から定期的に萩尾坂が刊行されるようになり、本号から同窓会だよりを割愛しました。御諒承下さい。
○恒例の入学式、卒業式の校長の式辞を掲載しました。学生諸君、保護者の皆様の熟読をお願いします。
○今回から新任教職員全部の方々に着任の挨拶をお願い致しました。
○新入生オリエンテーションは四月二十三日から二十五日まで阿蘇青年の家で行われましたが、その時の感想文を各科一名分ずつ掲載しました。
○建築学科の新谷肇一先生が昨年文部省在外研究員としてヨーロッパに留学されました。その時の留学記を掲載しました。
○最後に、御多忙中にもかかわらず多数の皆様から原稿を戴きました事に感謝し、厚くお礼申し上げます。

事務部からのお知らせ

◎いよいよ八月中旬に電子情報工学科棟が着工される予定です。新しい五階建校舎にご期待下さい。なお、多少の工事にはご迷惑をかけるかも知れませんがよろしく!!

第17回九州地区高専ハンドボール大会日程

世話校 都城高専
期日 7月8日
会場 都市体育文化センター
参加校 有明高専、北九州高専、都城高専、八代高専、鹿兒島高専

第19回西日本地区高専ヨド大会日程

世話校 新居浜高専
期日 7月24日
会場 愛媛県立新居浜商業高等学校弓道場
参加校 有明高専、久留米高専、八代高専、北九州高専、都城高専、鹿兒島高専、宇部高専、新居浜高専、高知高専